

邦楽専攻

確かな技術と深い教養をもとに、
日本音楽の未来を創造する人へ。



箏・三絃または尺八を専門に学びます。特筆すべきは合奏の多さ。アンサンブルをリードするスキルは、よき社会人として活躍するための力にもつながります。並行して西洋音楽も学び、五線譜にも習熟。伝統音楽はもちろん現代的な音楽にも対応できる、日本音楽の未来を担う人材を育てます。

PICK UP

学びのポイント

Point 1
基礎の訓練として、
代表的な古典曲や宮城曲を通して、
奏法や曲の解釈を勉強します。

Point 2
邦楽演奏会における
舞台での演奏を通して、
舞台芸術を考えます。

Point 3
講師と随時合奏ができることが特徴。
プロの音楽性を肌で感じ、
学び取ることができます。



邦楽合奏

邦楽器によるアンサンブルは、本専攻の伝統授業の一つ。学生だけでなく、教員やプロの演奏員との合奏を経験できます。



邦楽楽器

合奏だけでなく、徹底的な個人レッスンで演奏技術を磨きます。また、所作やふるまい等、邦楽の精神的・道徳的伝統についての指導も受けられ、総合的なレベルアップを図ります。

西洋音楽

伝統的な縦譜だけでなく、五線譜での演奏にも取り組んでいます。西洋音楽の邦楽アレンジや洋楽器とのアンサンブル等、本学だからこその演奏経験が積めます。



邦楽演奏会

年1回の「邦楽演奏会」では、大きな舞台での演奏を通して様々なことを学習できます。舞台上での演奏だけでなく、運営に携わることで演奏活動を多面的に理解します。



Student's voice

尊敬する先生方のもとで、
日々奮闘中。



小池 映理 さん
器楽学科／邦楽専攻／1年
奈良県立橿原学院高等学校 出身

これまでに会った箏の演奏家のほとんどの方々の出身校だったことから、本学への進学を決めました。先生や先輩たちと一緒に演奏する合奏の授業は、同じ楽譜を見ているも個々に曲の解釈が違うのが興味深く、加えてさまざまな視点を学び取れる貴重な時間です。また、熟練の先生方がすぐそばに居てくださるので、分からないことがあった時、行きつまった時も安心。常に発見の連続で、刺激的な毎日を送ることができています。将来は、和楽器を教えられたい音楽家になりたいです。

Faculty's voice

言われてないことにも
どんどんトライする、その気概が大切。



音楽学科／邦楽専攻
片岡 リサ 講師

学生の皆さんには、古典曲から現代曲まで幅広く演奏できる音楽家になってほしいと思っています。大阪音大で学ぶ最大の意義の一つに「他の楽器、他のジャンルの音楽と常にふれあい、知ることができる」ということがあります。「邦楽以外の音楽に触れること」が、あなたの音楽に一層の深みと広がりをもたらしてくれます。また、腕の上達には、言われたことを真面目に取り組むだけではなく、それ以上のことを自主的にやってみようとする意気込みが大切。例えば自分の好きなポップスをお箏でアレンジしてみる、とかでもいいんです。常に前向きに、教員を貪欲に活用しながらがんばってほしいですね。